

母校のいま

中学卒業生数	4,351名
高校卒業生数	15,494名
在校生数	中学 216名 高校 1,268名
教職員数	126名

※2022年5月1日現在

発行人：常翔啓光学園高等学校  
校友会 啓聖会

〒573-1197 大阪枚方市禁野本町1丁目13-21  
TEL 072-848-0521 FAX 072-848-2969

ホームページを随時内容更新中!  
HP <http://www.am-kg.jp>

LINE@ 同窓会 LINE公式アカウント  
@cui2214xで検索!  
@keiko-dousoukai



# 常翔啓光

Alma Mater

2022年  
8月28日  
第38号



## 常翔啓光学園高等学校校友会 啓聖会 「開校65周年記念祝賀会」& 「第58・59・60期生合同第1回同窓会」



「開校65周年記念祝賀会」&「第58・59・60期生合同第1回同窓会」は次の内容で開催します。

- ・日時：2022年10月23日(日) 午後4時30分受付開始・午後5時開宴
- 音楽部OB会の演奏やビュッフェ大会など予定しています。
- ※常翔啓光学園グッズがもらえます。
- ・参加費：5,000円(58・59・60期卒業生は無料)
- ・場所：リーガロイヤルホテル大阪3階 大阪市北区中之島5-1-3-168
- Te l : 0 6 6 4 4 1 1 1 0 5 6

※事前に第58期59期60期生には、参加ハガキが郵送されます。それ以外の卒業生は必ずホームページをご確認ください。

【報告】

7月2日(土) ホテルニューオータニ 大阪2階「鳳凰の間」で開催されました、学園創立100周年2022年度総会・全国支部交歓会は、皆さまのご協力とご理解を賜り、無事に終えることが出来ました。ありがとうございました。

卒業生の皆さま、いつも本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。この春の結果で顕著なものは、国公立大学合格が49名となりました。これは記録が残る中では過去最多です。生徒たち自身が自分の将来像を描き、それを実現するにはどんな学部学科で学べばいいのか、その分野に強い大学はどのかなど、このようなことをしっかりと調べ、夢を叶えるための努力を惜しまない風土が根付いてきたからだと思います。65周年を迎える今年、良いスタートが切れる出来事となりました。

また2022年は、学校法人常翔学園創立100周年を迎え、本校でもそれに合わせてグラウンドの人工芝化が実現しました。皆さまから多くの学園100周年記念募金をいただきました。募金は今年度末まで受け付けておりますので、引き続きご支援をお願いいたします。

末筆になりましたが、皆さまのご健康とご活躍をお祈りいたします。

常翔啓光学園中学校 校長 山田長正

一年間の報告

平素は格別のご高配を賜り、卒業生を代表し厚く御礼申し上げます。さて、今年度は啓光学園時代より数え開校65周年であり、常翔学園においては100周年となる記念の年になります。この二年コロナに振り回されており恒例となったリーガロイヤルでの第1回同窓会も納涼会も開催できず心苦しく思っておりました。7月2日に常翔学園校友会全国支部交歓会が大阪市内で開催され全国より500人余りの出席者がありました。

私達の母校と学園の更なる発展と私達啓聖会としても開校65周年記念パーティーを10月23日17時挨拶とさせていただきます。

常翔啓光学園高等学校 校友会 啓聖会 会長 内濱啓次

会報発行に寄せて

このような教育内容の成果は、大学進学実績として表れてきました。今春の結果で顕著なものは、国公立大学合格が49名となりました。これは記録が残る中では過去最多です。生徒たち自身が自分の将来像を描き、それを実現するにはどんな学部学科で学べばいいのか、その分野に強い大学はどのかなど、このようなことをしっかりと調べ、夢を叶えるための努力を惜しまない風土が根付いてきたからだと思います。65周年を迎える今年、良いスタートが切れる出来事となりました。

また2022年は、学校法人常翔学園創立100周年を迎え、本校でもそれに合わせてグラウンドの人工芝化が実現しました。皆さまから多くの学園100周年記念募金をいただきました。募金は今年度末まで受け付けておりますので、引き続きご支援をお願いいたします。

末筆になりましたが、皆さまのご健康とご活躍をお祈りいたします。

常翔啓光学園中学校 校長 山田長正

陸上競技部

OBOGの皆さまには、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。さて、コロナ状況のため、延期となっていましたが、本年度のOBOG総会は、5年ぶりの開催を準備しております。先日OBOG総会に向けて、役員会を開催し、各役員との意思統一ができました。今のところ、10月もしくは11月には開催することを前提に準備しております。詳細が決定次第、皆さまにご案内できればと思っております。ただし、コロナ状況にも左右されますので、確実に開催可能となる様にと願って準備を進めてまいります。その際には、お一人でも多くのOBOGのご参加をお願いいたしたく存じます。

また、前顧問津野先生もすでにご参加の意向を示していただいておりますので、交流を深めたいと思っております。

最後にOBOG会は、OBOGの親睦と現役部員への支援を最大の目的としております。そのためにも、OBOG会の円滑な運営に、多くの皆様のご支援を賜りたいと存じます。

OBOG会に対して、今以上のご支援、ご理解を、どうか、宜しくお願い申し上げます。

常翔啓光学園陸上競技部OB OG会会長 濱田 和男

ラグビー部

日頃よりラグビー部の活動にご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。おかげさまで今年度は、新人大会と大阪総体の10人制大会において優勝を果たすことができました。また、少人数選抜に3名、強化選手ならびに高校日本代表候補に1名の選手が選出されました。

コロナの影響による制限も少しずつ緩和され、合宿や対外試合など以前の活動を戻せる兆しが見えてきました。また、7月下旬には学園創立100周年事業により本校のグラウンドが人工芝にリニューアルされますので、新入部員の勧誘にも良い風が吹かないかと募集に熱が入っております。今後も全国大会出場に向けて日々精進して参りたいと思っております。

その中で、選手の更なる躍進にむけての取り組みにおいて、栄養食料、コーチ費用、練習備品の劣化と消耗等への出費が必要不可欠な状況にあります。現状の部員数の部費や選手個人ではまかないきれない負担となっています。そこで誠に勝手なお願いではございますが、少しでも選手の負担を軽減し、更なる高みを目指すことができるよう、常翔学園創立100周年募金の常翔啓光の課外活動支援のラグビー部へのご支援をいただきたくお願い申し上げます。

今後とも、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

創立100周年募金 <https://www.josho.ac.jp/100th/donations/>  
SNSを利用して日々、ラグビー部の発信を行っております。よろしければ是非ご覧ください。  
フェイスブック：<https://www.facebook.com/keikorugby>  
インスタグラム：<https://www.instagram.com/keikorugby50/?hl=ja>

水泳部

卒業してもう40年になります。時のたつのも早く仲間と過ごした時間は今も記憶の中では新しく感じられます。啓光学園で過ごした三年間、多くのことを感じ影響を受け、いまの自分があります。若かりし頃には想像もつかなかった人間関係が、水泳部を通して出来上がり、いまに至っています。水泳部と一緒に過ごした友人達も、人生の中で大きな存在となっています。当時は何も考えず、自分本意に反発することもあり、先生方にはご迷惑をお掛けし本当に申し訳ございませんでした。この場をお借りしお礼申し上げます。また、今年から息子も通うこととなりました。人生の大きな財産が作れる事を期待し、三年間御指導よろしくお願いたします。

後藤 純(1982年卒)



ワンダーフォーゲル部

長きにわたる新型コロナウイルスも落ち着きを見せワンダーフォーゲル部にも日常が戻ってきました。昨年12月には常翔啓光ウォール前にて第12回全国高等学校選抜クラミング大会出場の壮行会を開催することができました。出場選手は、一昨年も出場を果たすも新型コロナウイルス蔓延で大会中止を余儀なくされたことから、大会に掛ける想いが熱く、当日は、大奮闘してくれました。

OB・OG会として現役生との交流ができたことはもちろんですが、少しでも彼ら彼女達の背中を押すことができたことは、何よりの喜びです。

新年度2022年を迎え、ワンダーフォーゲル部は、更に飛躍すべく文武両道を掲げ、日々、切磋琢磨し歩みを進めています。その結果、5月に行われた春季登山大会において男子チームが1位という輝かしい成績で、香川県で開催されるインターハイ・第66回全国高等学校登山大会への出場を5年ぶりに果たしました。

記録的な猛暑される山の天候等、自然に左右される競技ですので、大会当日は、持てる力を出し切って欲しいのはもちろんですが、無事に帰路に着いてくれることを何よりも願っています。

そして今年ワンダーフォーゲル部は、OB諸先輩から現役生まで縁の糸が途切れることなく紡がれて、創部60周年という時代の節目を迎えました。

12月には、この慶事を祝い、周年記念式典、祝賀会を開催する予定です。ワンダーフォーゲル部の活躍、そして縁の糸に終わりはありません。

微力ではありますが、これからも、ワンダーフォーゲル部の為に尽力していきます。

ワンダーフォーゲル部OB・OG会会長 谷本 龍信 (47期生)



音楽部

常翔啓光学園・開校65周年、おめでとうございます。平素より、当・OB会がお世話になりありがとうございます。

毎年同じようなことを書いているかもしれませんが、啓光学園音楽部のOBは、これまで常翔啓光学園中学校卒業生の成人式をお祝いすることを、年に1回の楽しみとして、活動してきました。

そして、2019年8月にOB会という組織を正式に結成して、その名称を啓聖会啓光学園音楽部OB会と決めました。

そして、さあ、これからあんな事もこんな事も議論している矢先に、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、日々の活動さえ様々な制限を受けることになってしまいました。

成人式自体は開催されていましたが、音楽部OBによる祝賀演奏は取りやめられました。

それゆえ、ここで皆さまに報告出来るような表だった活動はありませんでしたが、裏では幾度か対面での役員会を開催して、文化祭が開催されるならOB演奏ができないか、他にも演奏機会がないか、といった検討を行った他、OB会の拡大(OBの発掘)に向けた、ハガキや電話によるローラー作戦を

河辺 員臣会長(5期)を基として行われていました。

その成果もあり、225名の名簿がありますが、物故者を除いて162名と連絡がつくようになっています。

新型コロナウイルス感染症の感染者数が少し落ち着いてきたと思うところで、また新たな感染症が報道されるようになってきました。いつになれば、活動が再開出来るかは不明ですが、演奏に参加出来るかどうかは別として、役員会では、OB会を旧交を温める場の一つにしていきたいと考えています。

この記事をご覧になった音楽部のOBの方で、未だOB会からの連絡が届いていない方がいらっしゃいましたらぜひ、j-ukon@pf7.so-net.ne.jp(右近・30期)までご連絡をくださいませ。お待ちしております。なお、ご連絡をいただきます際には、啓光学園音楽部のOBでいらっしゃる旨を明示していただきますよう、お願いいたします。



決算報告

2021年度決算 自2021年4月1日 至2022年3月31日

Table with 5 columns: 収入科目, 予算, 決算, 増減, 備考. Rows include 前年度繰越金, 会費, 学園教育振興会奨励金, 雑収入, 受取利息, 総計.

支出の部

Table with 5 columns: 支出科目, 予算, 決算, 増減, 備考. Rows include 印刷費, 通信費, 活動費, 在校生支援金, 58-59期生同窓会支援金, 全国大会出場支援金等, 次年度繰越金, 総計.

2022年度予算案 自2022年4月1日 至2023年3月31日

Table with 2 columns: 収入科目, 予算. Rows include 繰越金, 学園教育振興会奨励金, 雑収入, 総計.

支出の部

Table with 2 columns: 支出科目, 予算. Rows include 印刷費, 通信費, 活動費, 在校生支援金, 58-59-60期生第1回同窓会支援費, 65周年記念人工芝寄付, 全国大会出場支援金, 総計.

2021年度進路結果報告

常翔啓光学園中学校・高等学校 進路指導部長 川端 健介 2021年度 大学等合格状況 (4月13日現在)

2022年3月の卒業生は409名(昨年度は418名)でした。コロナの状況下でかつ大学入試改革2年目の中、大学受験が実施されました。また、今年度、新入生は中学校・高校併せて476名で総生徒数1486名となりました。入学式は、新入生と保護者は別会場で行われ、オンラインの式典となりました。その後今年度は何と対面式の授業をコロナの対策しながら実施しております。ここ数年1400名規模の学校として推移し大阪府下でも有数の生徒数を誇る学校となりました。また、卒業生409名のうち394名(91.4%)が大学進学を希望し、そのうち374名(94.9%)が大学に現役で進学を決めました。卒業後の進路も多様化しており、14人が専門学校へ進学しました。

次に、大学合格者数の詳細は、徳島大学医学部医学科1名をはじめ、国立大学に49名合格し過去最高の人数となりました。4年連続30名を超える数となり上昇傾向にあります。また、関関同立大73名、産近甲龍大284名という結果となりました(過年度生を含む合格者延べ数)。学園内大学へは127名が進学し、その内訳は大阪工業大37名、摂南大学77名、広島国際大学13名が進学しました。本校のスケールメリットを最大限に活用し進学する生徒も増えてきました。

昨年度は、大学入試センター試験から「大学入学共通テスト」に変更となった2年目の年で、共通テストの問題が難化し、全国平均点が下がりました。その結果、特に国立大学出願の有無が心配されました。しかし、本校の強みは生徒と担任の先生との面談機会が多いことで、やはり、コロナ禍においても面談をしっかりとすることが、この難局を乗り越え、進路決定につながったと思います。休み時間や昼休み、放課後になれば職員室や職員室前のフリースペースに生徒はあふれかえります。つまり、担任の先生方は生徒一人ひとりベストな進路希望を叶えるべく、常に面談を通して生徒の志向を把握して行きます。成績や偏差値だけで画一的な進路指導を行っておりません。生徒の「主体性」を大切に指導しており、これは、本校の長き伝統でもあります。生徒の悩みなどを聞いてあげることによってこの状況乗り越えることができると思い日々指導してきました。

また近年、生徒の主体性を評価する総合型選抜・学校推薦型選抜入試など新たな大学入試に変化しています。そして、このコロナ禍でICT教育を実践し、全国13の国立大学とオンラインなどで大学説明会を実施した「目指せ！国立大学ガイダンス」など、新しいことに我々も試行錯誤し挑戦し続けています。ますます多様化する大学入試に向け、ますますきめ細やかな進路指導を心がけていきたいと思っています。同窓生の皆さまにおかれましても母校のさらなる飛躍を期待していただきたくとも、ますますのご支援をうけたまわりますよう、よろしくお願いたします。

Table showing university admission results by category (National, Prefectural, Private) and region (Kansai, etc.).

Table showing university admission results by region (Kansai, Chugoku, etc.) and school type (Public, Private).

編集後記 この2ヶ月前からはじまったコロナ禍により、今まで当たり前と思ってきた世の中の常識と呼ばれるものが、大きく変わってしまいました。その中で自分を失うことなく、足元をしっかりと見ながら歩いていかねばならないのではないうか。